



平成25年6月20日

各 位

株式会社 UMN ファーマ
アピ株式会社
株式会社ヤクルト本社

**株式会社 UMN ファーマ、アピ株式会社及び株式会社ヤクルト本社による
抗体バイオ後続品の共同事業契約締結のお知らせ**

6月20日、株式会社 UMN ファーマ（代表取締役会長兼社長 道下 眞弘、以下「UMN ファーマ」）、アピ株式会社（代表取締役社長 野々垣 孝彦、以下「アピ」）及び株式会社ヤクルト本社（代表取締役社長 根岸 孝成、以下「ヤクルト本社」）は、本年3月6日に締結した意図確認書の内容に基づき、がん領域における抗体バイオ後続品に関する共同事業契約（以下「本契約」）を締結しましたのでお知らせします。今後、本契約の対象品目以外の品目についても、共同事業の詳細を協議し、契約を締結する予定です。

本契約に基づく共同事業において、3社はそれぞれの強みを活かし、抗体バイオ後続品の研究・開発・製造・販売を展開します。世界最大級のバイオ医薬品製造施設を有する UMN ファーマ及びアピが原薬・製剤の製造を行い、ヤクルト本社は得意とするがん領域での開発・販売を行うことで、高品質な抗体バイオ後続品を安定的に供給することを目指します。

UMN ファーマの子会社である株式会社 UNIGEN は、岐阜県揖斐郡池田町に世界最大級のバイオ医薬品原薬工場（以下「UNIGEN 岐阜工場」）を本年5月に完成させ、事業を本格的に開始いたしました。UNIGEN 岐阜工場では、バイオ医薬品製造に関する最先端技術やノウハウを活用し生産プロセスに関する革新的な提案を行うことができます。アピは、平成16年に医薬品受託製造事業に参入、注射用製剤を中心に医薬品製造の受託実績を多数有し、今回、最新鋭の設備を有するアピ池田バイオ医薬品工場を同時に完成させました。ヤクルト本社は、飲料および食品製造販売、医薬品製造販売等の事業をグローバルに展開しており、医薬品製造販売事業では、がん領域の研究開発・販売において、国内外で強固な地位を確立しております。

以上